



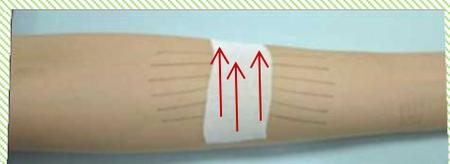
朝晩の涼しさに秋の気配をかすかに感じられる頃となりました。皆様、いかがお過ごしですか。

今号は皮膚創傷管理山口と感染管理岡本が、業務の中で取扱いの多い末梢静脈カテーテル管理の中の、ドレッシング材の貼り方・はがし方について、振り返りを行う内容としました。

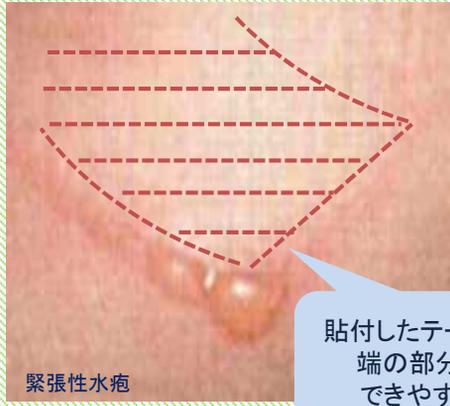
●ドレッシング材の貼り方



●貼り方により発生する皮膚障害



テープを引っ張って貼付すると・・・
皮膚が引っ張られて負荷がかかり、角質の損傷を招く



緊張性水泡

皮膚障害の観察点

- ◆角質・表皮剥離の有無
- ◆浸軟
- ◆アレルギー性接触性皮膚炎
- ◆一次刺激性接触性皮膚炎
- ◆感染(毛嚢炎・カンジダ皮膚炎)
- ◆緊張性水泡

●ドレッシング材のはがし方

- ①周囲の皮膚を指で押さえながら
- ②テープの角度が皮膚表面に対し平行になるようにして
- ③ゆっくり剥がす

・皮膚を押さえずに剥がす
・テープを力任せに勢いよく剥がす
・上に引っ張り上げるように剥がす



ドレッシング材の管理を適切に行い、皮膚トラブルをなくしていきましょう。

気になることはご連絡ください。